

年会テーマ

島嶼コミュニティからみえてくるもの

島嶼コミュニティ学会 第1回年会

趣旨説明 13:00 ~ 13:10

「島嶼コミュニティ研究の目的と方法」

立柳 聡 (福島県立医科大学看護学部)

基調講演 13:10 ~ 13:50

「過疎地域の保健活動と高齢者医療」

高橋 龍太郎 (東京都健康長寿医療センター研究所)

報告 14:00 ~ 16:00

- 「東日本大震災から見えてきたコミュニティ像」
立柳 聡 (福島県立医科大学看護学部)
- 「からむし織の里・奥会津昭和村の“織姫” — 伝統文化の継承と地域活性化」
對馬 秀子 (埼玉医科大学短期大学母子看護学専攻科)
- 「豪雪地・「限界村落」の生活知 — 昭和村での停電体験を通じて」
大矢枝里子 (東洋大学大学院福祉社会デザイン研究科)
- 「民間医療の現代における役割 — 八丈島の伝統的治療法の調査事例から」
岡本 裕樹 (順天堂大学大学院医学研究科)
- 「八丈島のイシバサマ信仰——環境民俗学からの一考察」
土屋 久 (共立女子大学)
- 「用水路保守作業と高齢者——奥会津・八丈島の比較」
松本 誠一 (東洋大学社会学部)
- 「ノーマライゼーションの国 デンマーク——住んでみて感ずること」
松山 義夫 (社団法人埼玉県社会福祉士会)

討論 16:10 ~ 16:50

総括 16:50 ~ 17:00 松本 誠一 (東洋大学社会学部)

古文書展示

近世の古文書からひもとく八丈島の暮らし — 天災・飢餓・疫病 —

2011年 6月 18日 [土]

13:00 ~ 17:00

東洋大学 白山校舎 6号館 <6203教室> <6204教室>

※古文書展示会場

都営地下鉄三田線白山駅 東京メトロ南北線本駒込駅下車 徒歩5分

連絡先：東洋大学社会学部 松本誠一 E-mail: matsu1@toyo.jp FAX: 03(3945)7626
(社会学部研究室事務室)

※本年会は「科学研究費補助金」(文部科学省)「高齢化コミュニティの暮らしの変化と保健戦略—八丈島と奥会津山村の比較研究—」の研究成果の報告を含みます。